

会 議 議 事 録 (要旨)

1 会議名	令和元年度 第1回長岡市地域公共交通協議会
2 開催日時	令和元年5月31日(金曜日) 午後1時30分から
3 開催場所	フェニックス大手イースト まちなかキャンパス3階 301会議室
4 出席者名	茂田井会長、佐野副会長、丸山委員(代理:中山様)、高橋委員、鈴木委員、井藤委員、渡邊委員、佐野委員(代理:桜井様)、野口委員(代理:谷畑様)、小林守委員、宇佐美委員、小林加津春委員、焼田委員、中山委員、山本委員 【欠席】三本委員
5 議決事項	(1) 平成30年度事業報告及び平成30年度歳入歳出決算報告
6 協議事項	(1) 生活交通の利用状況について (2) 栃尾地域における生活交通について (3) 令和元年度事業内容について (4) 令和元年度交通関連事業について
7 協議結果の概要	・議決事項(1)について承認された。
8 審議の内容	
【その他】	委員の交代について
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市都市整備部の大塚会長が茂田井会長と交代。 ・長岡市土木部の小山委員が野口委員と交代。 ・新潟県警察本部交通部の真島委員が佐野委員と交代。 ・国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局の関谷委員が渡邊委員と交代。 ・新潟県長岡地域振興局企画振興部の中林委員が宇佐美委員と交代。
【議決事項】	(1) 平成30年度事業報告及び平成30年度歳入歳出決算報告
事務局	資料に基づき、議決事項(1)を説明。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・会計監査を行い、歳入・歳出に関する帳簿並びに書類等は、いずれも適正に処理されていたことを確認した。 <p>(質疑応答なし)</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議決事項(1)を承認してよいか。 <p>(承認された)</p>

【協議事項】	(1) 生活交通の利用状況について
事務局	資料に基づき、各地域の利用状況について説明。
	(以下、質疑応答)
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3地域とも高齢化や人口減少が進んでいる状況であると考えられるが、利用状況を比較すると、川口地域は利用者数の減少が抑制できているように思える。川口地域で実施している取組みを他の地域でも導入することは可能なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川口地域のやり方を他の地域でも取り入れていきたいとは考えている。しかし、以前は無償運行を行っていた小国地域、山古志地域とは異なり、川口地域は元々町営バスで有償運行を行っていたため、地域の文化として公共交通を利用するという意識が高いと感じている。今後は支所ごとの勉強会などを通して他地域の良いところを取り入れていきたいと考えているが、具体的な計画はないためよい方法があれば教えていただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川口地域は免許返納者が新規利用者として増加しているとあるが、他の地域でも免許返納者は増加していくと予想される。その人たちを公共交通に取り込むアイデアがあればご発言いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の事故が増えており、危機感を持っている。足を確保することが前提となるが、高齢者に免許返納を促す環境をつくる必要がある。長岡市も含めて多くの自治体では免許返納者にバスやタクシーのチケットの配布などを行っており、私どもも、事業者負担で免許返納者には1割引きのサービスを行っている。だが、まだ周知の途中である。 しかし、昨年6月に新潟市が免許返納者への支援事業を廃止した。危惧しているのは、この動きが他の市町村に波及することであり、実際に上越市も免許返納者への支援事業を廃止している。もし長岡市でもそのような案が出た際には、バスやタクシーなどの協力者に相談しつつ検討を進めていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の免許返納者数は年々増加しており、昨年は過去最高を記録した。昨年、新潟県警で高齢者の免許更新者にアンケートを実施したところ、免許を返納できない理由として、免許を返納すると移動手段がなくなってしまうという問題が一番大きかった。免許返納をせざるをえない方には、県内全市町村の地域包括支援センターと連携して、公共交通についての情報提供など、返納後の生活を支援する活動を行っている。自治体や事業者からも公共交通の整備状況や助成制度を積極的に広報していただければ、高齢者の事故防止、そして公共交通の利用促進につながると思うので協力をお願いしたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・柏崎市では、65歳以上の高齢者は循環バスが半額で、さらに今年10月からは全路線半額になると聞いている。また、新潟市や佐渡もそのような取組みがある。例えば山古志などでは、それなりにバス運賃がかかり頻繁には利用しにくい。気軽に外出できるということは高齢者の元気を保つために大切であるため、長岡市でも65歳以上を半額にすることが可能なのか検討していただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の協議会で、小国地域でのバスの小型化を検討していたが、検討結果はどうなったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は29人乗りのバスを使用していたが、協議会で小型化という意見が出たことと、車両の使用年数が長かったことを考慮し、14人乗りのバスに変更した。バスの小型化によって乗り入れ可能な道路が増えたため、バス停位置の見直しや利用が多い時間への運行時刻の変更を行っている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回出た意見をもとに、見直し検討を進めていただきたい。
【協議事項】	(2) 栃尾地域における生活交通について
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき、路線バス区間の廃止について説明。 ・廃止の理由は大きく2つ。地域人口の減少に歯止めがかからず、長岡市からの補助金を利用しても慢性的な赤字が続いていたから。と、全国的にみられる運転士不足。
事務局	<p>資料に基づき、栃尾地域乗合タクシー実証運行について説明。</p> <p>(以下、質疑応答)</p>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・1日に何人が利用する想定で計画しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年、越後交通の路線バスで乗降調査を行ったところ、多い便で5人程度、少ない便で0人となっている。今回の乗合タクシーでは、最大でも5人程度と想定しているが、まちなかまで運行することや家の近くまで来てくれるというサービスが付加されることで、多少増加するのではないかと考えている。また、今後免許を返納する方などの利用も見込まれ、地域に浸透していけば徐々に利用者は増加するのではないかと考えている。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・1便1台ですべてのルートをまわるのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は1台ですべての地域を一筆書きで回るように計画している。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・では仮に、軽井沢で1名、田代で1名、新山で1名乗りたいという人がいたとしたら、まちなかから出て何分で戻ってこれるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・往復で1時間50分を予定している。しかし、そのようなケースはあまりないのではないかと考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・料金体系はどうなっているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の越後交通の料金をベースとするが、若干の値上げが必要であると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・6月6日に区長と周知の方法について話し合うということだが、一番のポイントは周知をしっかりと利用方法を理解していただき、便利さを知っていただくことである。実施前に十分な調整と周知を行って、モデルケースになるような運行にしていきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの地域説明や協議の状況、また今後の周知の方法について現時点で分かることはあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年、越後交通から路線廃止の話聞き、沿線の区長にその旨を伝えた。今年4月にはアンケートを行い、各区の乗車規模やニーズを調査した。この結果を踏まえて6月に区長へ運行計画の説明を行い、そこで出た意見を踏まえた上で10月から運行開始する予定である。また、8月から住民への広報活動や説明会を開始する予定である。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの運行と重なる区間もあるが、そこの方も乗合タクシーを利用できるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・越後交通のバスが栃尾車庫前から荷頃農協前までは運行を継続するため、この区間のみでの乗降はできない仕組みにする予定である。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事前予約制だが、予約の締め切りはいつまでか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・始発の便は朝早くの運行のため前日までに、それ以降の便は2時間前までに予約していただくよう考えている。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートの中で、時間に間に合うようであれば予約が間に合わなくても乗車を許

	可してもよいのではないか。
事務局	・その点については、今後タクシー事業者と詰めていきたい。
委員	・他地域では、事前の電話予約が不便であるという住民の意見を受け、元の定時運行に戻す動きもあると聞いている。6月に説明会を行って住民の意見次第では定時路線に変更しようとなる可能性はあるのか。
事務局	・現時点では、予約制で実施する方針である。1年半の間に何度か住民の意見を聞き、反対意見があれば改めて検討したい。
委員	・半蔵金は住民のほとんどが高齢者であると聞くが、移動販売などはあるのか。
事務局	・移動販売はないが、商店がある。また、子供が近くや長岡に住んでいて、必要な時には買い物をしてきてもらうという方もいる。
会長	・どういう方がどんな目的で利用するかは分かっているのか。
事務局	・アンケートでは、病院、買い物、役所、銀行など用事を足すために利用する方がほとんどであった。栃尾地域にも診療所はあるが、長岡まで通っている方もいるため、長岡行きとの接続を考慮してほしいという意見もあった。
会長	・今回出た意見を踏まえて、今後の検討を行っていただきたい。
【協議事項】	(3) 令和元年度事業内容について
事務局	資料に基づき、内容を説明。 (以下、質疑応答)
委員	・和島地域の割烹バスは自家用バスの使用となり、道路運送法の制約があるので、今後も話し合いをしつつ調整を進めたい。
委員	・栃尾地域の実証運行が10月から始まるということだが、他の地域で自治体としては十分周知したつもりだったが、実際は周知不足だったという例がある。特に高齢者に対しては、バス停で待っていたのにバスが来ないなどということのないように、十分すぎるほどの周知をお願いしたい。
委員	・割烹バスの運行内容を教えていただきたい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・割烹バスについては検討中である。バス 7 台を所有している割烹があり、これを利用したボランティアでの輸送を考えている。市としては、運行にかかる燃料費を支援したいと考えているが、道路運送法などに抵触しないように注意しつつ、実験的に運行したいと計画している。また、安全面の課題もあり、運輸局にご指導いただきながら計画を進めていきたいと考えている。
【協議事項】	(4) 令和元年度交通関連事業について
事務局	資料に基づき、内容を説明。
	(以下、質疑応答)
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車走行空間整備が 600m とあるが、どここの整備を行うのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・帝京高校の前の東幹線 20 号線の整備を行う。帝京高校の前は平成 28 年に 1 km ほど整備を行い、予算の範囲内で少しずつ延伸している。いずれは帝京高校から宮内駅までつなげたいと考えている。
【その他】	情報提供
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき、山古志の自動運転実証実験の概要について説明。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき、G20 大阪サミットにおける公共交通利用のよびかけについて説明。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関して、国の政策について情報提供をお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は予算が 10 億円ほど増加し、その一部を利用して MaaS（マース）の実証事業を行う。MaaS とは、携帯のアプリなどでの経路検索に予約や決済などの機能を付加し、さらに駅からのデマンドバスやレンタサイクルなどを組み合わせることで公共交通の利便性を高めるものであり、実証事業には全国から応募があった。その中から、長岡市で応用できる事例も出てくると考えられる。 ・山古志の自動運転に用いられたようなドアのない低速カートの実証事業についても募集中であり、乗って楽しい車両の導入なども検討いただければと思う。
【その他】	全体意見
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・山古志の自動運転実証実験があったが、山古志地域を対象地とした選定理由は、中山間地であれば安全に走行できるからか。また、今後の実証運行の予定が分か

委員	<p>れば教えていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> この実証実験の目標は2020年度までに実走を目指すことであり、今後は全国のどこかの地域で実走開始を目指して取り組んでいくことになるため、現時点では山古志地域で実施されるかは未定である。今回の実証運行は中山間地ということで行ったが、全国の多様な地域で自動運転の実証実験は行われており、マイクロバスなどの大きな車両で実験している所もある。社会実走に向けてさまざまな試みをしているところである。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が減少している路線が多い中で、川口地域のように利用者があまり減少していない珍しいケースもある。公共交通の利用習慣を一朝一夕に醸造することは難しいが、川口地域のような例をもう少し分析することで、利用者増加のための有用な方策ができると思う。 栃尾地域では買い物や通院が主な目的だとあったが、公共交通運行の半分を移動販売の運行にまわして、買い物は移動販売で済ませてもらおうというようにすれば、全体としては費用を安く抑えられるのではないかと。今後は公共交通だけでなく全体を考えて検討を進めてほしい。
【その他】	スケジュールについて
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 第2回協議会は2月を予定している。 今年度は委員の委嘱替えの年となっており、今後委嘱の通知をする予定。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

■協議会の様子

